



日身体障害者補助犬学会 第16回学術大会
The 16th Annual Meeting of the Japanese Society of Service Dog Research

次世代の補助犬について考える
～人と犬との相互作用の構築に向けて～

協賛募集のご案内

主催：一般社団法人 日身体障害者補助犬学会

ご挨拶

次世代の補助犬について考える

「第16回身体障害者補助犬学会学術大会」学術大会大会長を務めさせて頂くことになりました。大会の開催にあたりましてご挨拶申し上げます。

今回の学術大会では、「次世代の補助犬について考える～真に当事者・社会が求める補助犬とは・人と犬の相互作用の構築に向けて～」というテーマを掲げました。このテーマの設定にあたっては、補助犬がどのように当事者や社会に必要とされ、その効果を十分に発揮できるかについて、今一度考え直すべき時期に来ていると強く感じたからです。

世界に目を向けると、補助犬の育成事業は日本と比較してより柔軟かつ広範な解釈のもと発展を遂げています。日本においても、補助犬が法的な枠組みの中でどの方向を目指し、どのように進化していくべきかが問われています。補助犬の効果を真に必要とされる方々にどのように届けるべきか、またそのために人と犬の関係をどう構築していくかを、皆様と共に考えていく場として本大会を位置付けました。

補助犬は、当事者の生活を支えるだけでなく、社会全体で共生するための重要な存在です。人と犬との間に生まれる相互作用が、当事者の自立や社会的な参加を促進し、私たちの社会をより豊かにしてくれると確信しています。

この学術大会が、次世代の補助犬の在り方やその発展に向けた実りある議論の場となることを願っております。そして、補助犬が今後ますます多くの人々に必要とされ、社会全体でその価値が認識される未来を共に築いていきましょう。

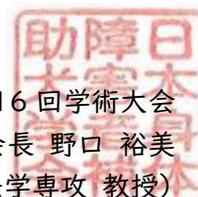
また、今回の開催は、「ほじょ犬のひろば」との初のコラボレーションによるものとなり、多くの一般市民の方にも、補助犬の役割や意義をより深く知っていただける啓発の機会でもあります。様々な楽しい企画を通じて、補助犬の存在を身近に感じていただければ幸いです。

最後に、本大会の開催にあたり、会員をはじめ、一人でも多くの参加とご協力のもと実りある学術大会に作り上げて参りたいと思います。皆様ご参加を大阪の地にて心よりお待ちしております。



大会 HP:QR コード

日身体障害者補助犬学会 第16回学術大会
大会長 野口 裕美
(四條畷学園大学リハビリテーション学部作業療法学専攻 教授)



開催概要

1. 開催趣旨

本大会は、補助犬が果たすべき役割や、これからの育成・活用における新たな可能性について、当事者や研究者、支援者が一堂に会し議論を深めることを目的としています。特に今回は、「ほじょ犬のひろば」との初のコラボレーション企画として、一般市民の皆様にも広く補助犬の存在を知っていただく啓発活動の場としています。補助犬の役割やその価値を社会に広く伝え、より多くの人々に補助犬の意義を理解していただくため、楽しい企画や展示を通じて補助犬との触れ合いの場を提供します。

補助犬と当事者との間に生まれる相互作用は、単なる「支援」以上の価値を持つものであり、人と犬が共生する社会の象徴的な存在です。補助犬が当事者の自立を支え、社会全体におけるインクルージョンを推進するために、私たちは補助犬の未来を再考する必要があります。

本大会を通じて、参加者の皆様と共に補助犬の次なるステップを模索し、研究・実践の両面で新たな知見とアイデアを共有できる場としたいと考えております。補助犬が持つ可能性を最大限に引き出し、より多くの人々にその価値が届く社会を共に築き上げていくことが本大会の開催趣旨です。

2. テーマ

次世代の補助犬について考える ～人と犬との相互作用の構築に向けて～

3. 主催、後援等(申請予定)

主 催: 一般社団法人日本身体障害者補助犬学会

後 援: 厚生労働省、国土交通省、大阪府、大東市、四條畷市、身体障害者補助犬を推進する議員の会

4. 開催方式

現地開催

5. 会期

2025年1月11日(土) 10:00-16:30

12日(日) 9:00-16:00

6. 会場及び所在地

学術大会および市民公開講座

四條畷学園短期大学清風学舎 80周年記念ホール

〒574-0001 大阪府大東市学園町6番45号

7. 学術大会参加対象、人数

学術大会プログラム 80名

補助犬訓練事業者、認定法人、補助犬使用者、医療従事者、福祉関係者、獣医師、
行政関係者、教育関係者、その他

市民公開講座 150名

ほじょ犬のひろば 200名

8. 参加費:

学術大会プログラム

- 会 員:6,000 円(事前登録は 5,000 円)
 - 学 生 会 員:1,000 円(事前登録なら無料)
 - 一 般:8,000 円(事前登録は 7,000 円)
 - 一 般 学 生:2,000 円(事前登録は 1,000 円)
 - 補 助 犬 使 用 者:4,000 円(事前登録は 3,000 円)
- 市民公開講座(事前登録のみ)
- 学術大会 参加者:無料
 - 一 般:1,000 円

9. プログラム委員

- | | | |
|-----|--------|---|
| 大会長 | 野口 裕美 | 一般社団法人 日本身体障害者補助犬学会 理事
四條啜学園大学 リハビリテーション学部作業療法学専攻 教授 |
| 委員 | 荒川 由美子 | アツヴィ合同会社 |
| | 川村 慶 | 川村義肢株式会社 代表取締役 |
| | 剣持 悟 | 川村義肢株式会社 義肢装具製造事業部生産管理課 係長 |
| | 花田 恵介 | 四條啜学園大学 リハビリテーション学部作業療法学専攻 教授 |
| | 向井 公一 | 四條啜学園大学 リハビリテーション学部理学療法学専攻 准教授 |
| | 武藤 裕司 | 四條啜学園大学・四條啜学園短期大学 入試広報課 課長 |
| | 守屋 隆 | NPO法人クレヨンリンク 理事長 |
| | 北口 志穂 | 医療法人聖志会渡辺病院 |
| | 吉田 文 | 一般社団法人 日本身体障害者補助犬学会 理事
大阪保健医療大学 保健医療学部リハビリテーション学科 教授 |

(五十音順)

10. プログラム ※プログラムは変更の可能性があります。あらかじめご了承ください。

市民公開講座 1/11(土) 13:00-16:30 清風学舎 80 周年記念ホール

来賓挨拶 逢坂 伸子(大東市長)

シンポジウム 人と犬が幸せに暮らすために

コーディネーター:山崎恵子(一般社団法人日本身体障害者補助犬学会 理事、
一般社団法人アニマル・リテラシー総研 代表理事)

犬の食について考える～薬膳ごはんのススメ～

油木真砂子(愛玩動物看護師、中国中医薬研究促進会認定 国際中医薬膳師、

テリントン Tタッチ 認定プラクティショナー、優良家庭犬普及協会グッドシチズンテスト サブジャッジ)

犬のしつけと行動学～ストレスレスな関係づくり～

入交眞巳(東京農工大学 ディープテック産業開発機構 伴侶動物診療拠点 特任准教授)

犬のしつけと遊び～おもちゃの役割から選び方まで～

金子真弓(優良家庭犬普及協会 常任理事&公認ジャッジ、CPDT 認定トレーナー、コング専属トレーナー、
テリントン Tタッチ 認定プラクティショナー)

同時開催:ほじょ犬のひろば@もりねき 1/11(土) 10:00-16:30 もりねき広場

補助犬デモンストレーション 11:00~、13:00~、15:00~

実施団体:公益財団法人関西盲導犬協会、特定非営利活動法人兵庫介助犬協会、社会福祉法人日本介助犬協会、
社会福祉法人日本ライトハウス盲導犬訓練所、社会福祉法人日本聴導犬協会

補助犬紹介ブース 10:00~16:30

学術大会プログラム 1/12(日) 9:00-16:00 清風学舎 80周年記念ホール(有料)

大会長挨拶 野口 裕美(四條畷学園大学)

大会長講演 「次世代の補助犬について考える」

演者:野口裕美(四條畷学園大学)

一般演題発表

ポスター発表

教育講演 「ペットと一緒に災害を乗り越える!!~災害時あなたは自分のペットを守れますか?~」

演者:大下勲(大阪 VMAT 副隊長、大下動物病院 院長)

国際シンポジウム

懇親会 (1月11日(土)17:30~)

Keitto Ruokala(ケイトルオカラ)

大阪府大東市北条 3-1-1 (もりねき広場内)

協賛募集要項

<寄付募集要項>

1. 募集内容

- 募集 1 ロにつき、以下 4.(1)～(3)の広告機会を提供します。
2 ロ以上お申込みの場合は、ロゴマークのサイズアップ、抄録集広告掲載等、広告機会が多くなります。
2 ロ以上のお申込みをできる限りお願い申し上げます。

2. 協賛(ご寄付)料金:1 ロ 50,000 円(税込)

3. 募集期間

2024 年 10 月 22 日(火)～ 11 月 29 日(金)

4. 協賛(寄付)団体、企業様の表示方法、媒体

(1) ウェブページおよび学術大会会場において、プログラム前後・幕間にロゴマーク、社名の表示。

① 学術大会ウェブサイトトップページ上への社名・バナーの掲載

4 ロ以上:大(300x100px)、3 ロ:中(200x50px)、1～2ロ:小(150x50px)

ホームページへのバナー広告の希望有無を申込みフォームにご記入ください。ご希望をいただいた場合には、リンク先、掲載バナーデータについて運営事務局からお伺いします。(掲載バナーデータはご用意します)



② 市民公開講座、学術大会会場における、プログラム前後・幕間のスクリーンへの表示。

4 ロ以上:動画広告・音声付きスライド等再生(30 秒以内)

3 ロ:音声無しスライド静止画像等社名を単独で表示

1～2ロ:協賛企業一覧として社名・ロゴを合同掲載

abbvie


Think Possibility


Gazing at the future




株式会社ニッポン



一般社団法人 群馬県立中部福祉研究開発協会

注) イメージのため実際のサイズや掲載形式は異なります。

(2) 学術大会抄録集(学会誌【日本補助犬科学研究】)への広告掲載

協賛口数に応じ、本大会講演抄録集に、協賛企業・団体として広告掲載をいたします。

- 1) 広告掲載媒体: 日本身体障害者補助犬学会第16回学術大会学会誌・抄録集(会期後発行予定)
- 2) 配布対象: 日本身体障害者補助犬学会会員・行政・医療・福祉関係者等
- 3) 配布部数(版型): 約150部(A4版)
- 4) 発行日: 2024年12月末(予定)
- 5) 発行部数: 150冊
- 6) 広告掲載ページについて
 - ① 広告A4版抄録集1ページサイズ(4色・掲載頁は表4) : 6口以上(先着1社限定)
 - ② 広告A4版抄録集1ページサイズ(1色・掲載頁は表3) : 4口以上(先着1社限定)
 - ③ 広告A4版抄録集1ページサイズ(1色・掲載頁は表2) : 4口以上(先着1社限定)
 - ④ 広告A4版抄録集1ページサイズ(1色・掲載頁は後付1頁) : 3口以上
 - ⑤ 広告A4版抄録集1/2ページサイズ(1色・掲載頁は後付1頁) : 2口以上

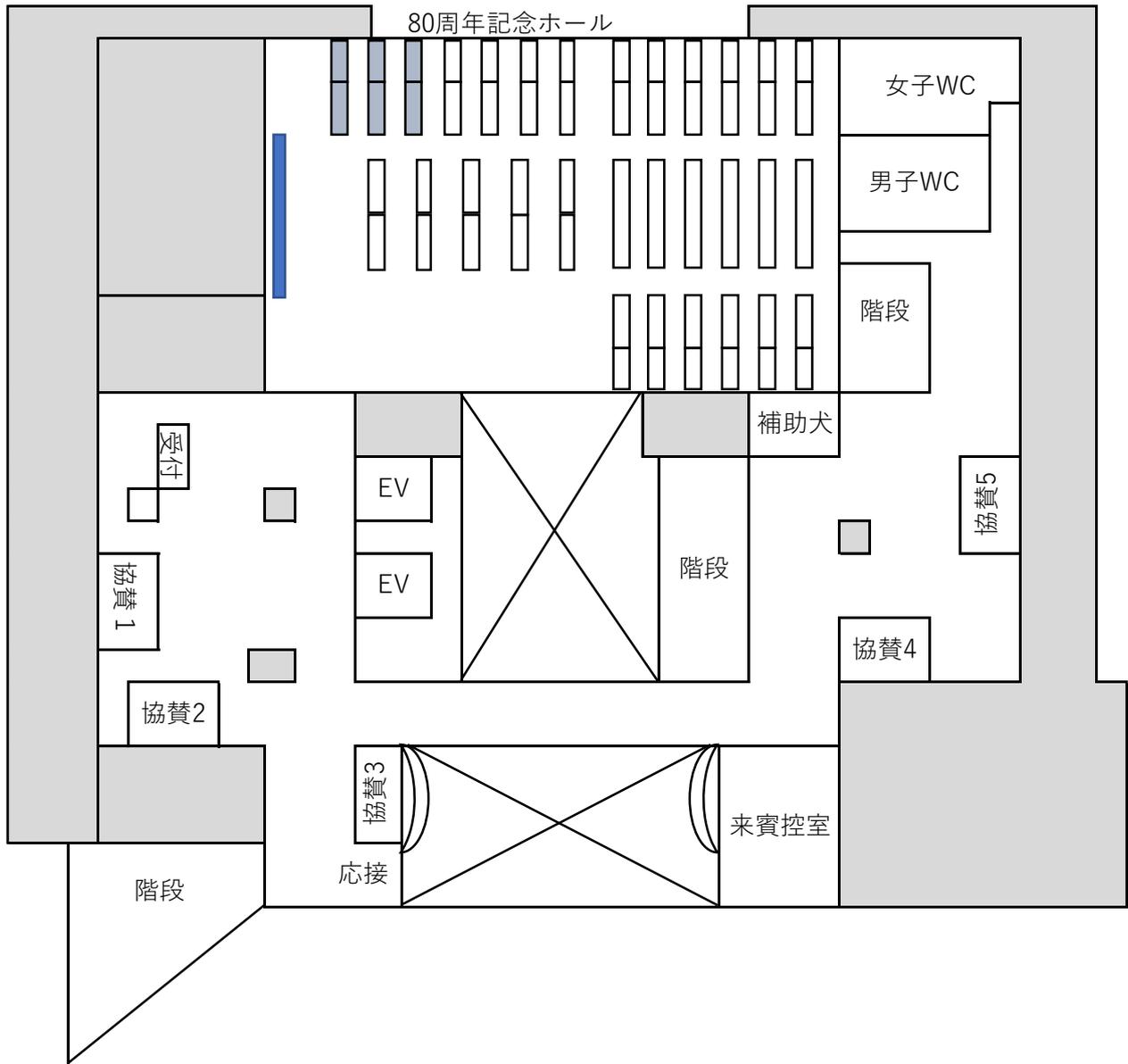
注) 上記①~③に関しましては、お申込多数の場合先着順とさせていただきますのでご了承ください。また④⑤の場合、掲載場所に関しましては主催者に一任とさせていただきます。

7) 広告申し込み締切: 2024年11月29日(金)

(3) 会場ブース設置

会場ブース設置(2口以上)(ブース場所は口数と先着順にて決めさせていただきます)

会場イメージ図



5. 透明性ガイドラインに関する同意について

本学会では、本学術大会（寄附金）に関して、各社の「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドラインに関する指針」に基づいて情報公開することに同意いたします。なお、別途同意書への押印・サインは控させていただきますので、予めご了承ください。

6. 本会議への参加資格について

出展者の皆様に対しては本学術大会の講演会場および関連プログラムへの参加資格はございません。参加を希望される場合は別途参加申込が必要です。展示会場へのアクセス制限はありません。

7. 各種協賛金申し込み方法

下記サイトより必要事項をご記入の上、お申込ください。

<https://jssdr2024.jp/>

【連絡先】 日本身体障害者補助犬学会 第16回学術大会運営事務局

8. 協賛金振込口座

- 銀行名：関西みらい銀行
- 店舗番号：132
- 店名：四條畷支店
- 預金種目：普通
- 口座番号：0078791

<口座名義(漢字)>日本身体障害者補助犬学会学術大会

<口座名称(カナ)> ニホンシンタイシヨウガイシヤホジヨケンガツカイガクジュツタイカイ

9. 申込方法&締切

既に当初の趣意書にて附設展示会をお申込済の場合は、再度お申込の必要はございません。

新規でのお申込は、下記サイトより必要事項をご記入の上、お申込ください。

<https://jssdr2024.jp/> ※2024年11月29日(金)迄にお申込ください。

10. 展示PRデータ入稿方法&締切り

- ①各種入稿データを1つのzipファイルにまとめてください。
- ②zipファイル名は必ず【正式企業名称(団体名)】にしてください。
- ③担当者の方にデータのアップロード先をお伝えしますので、webサイトより送信してください。
※各データは会長の承諾を得た内容のみ掲載可能となります。
※各データは返却できませんので、ご注意ください。

入稿締切日:2024年11月29日(金)までにご入稿ください。

11. 取消

出展申込書の提出後は、事務局が不可抗力と認めた事項以外での取消はできません。

従って、出展料金の返却もいたしかねますので、ご了承ください。

【連絡先】

日本身体障害者補助犬学会 第16回学術大会運営事務局
(株式会社アステム内)

〒530-0044 大阪府大阪市北区東天満2-7-12 スターポート

TEL 06-6242-6681 FAX 06-6242-6631

電子メール:convention-help@astem-co.co.jp

過去の学術大会

第 1 回

大会長:竹前 栄治(東京経済大学 名誉教授)

開催日時:平成 18 年 1 月 29 日(日)

開催場所:国立身体障害者リハビリテーションセンター学院講堂

第 2 回

大会長:池本 卯典(日本獣医生命科学大学 学長)

開催日時:平成 19 年 6 月 23 日(土)・24 日(日)

開催場所:日本獣医生命科学大学

第 3 回 メインテーマ:「人と犬の絆・補助犬」

大会長:山崎 薫(日本身体障害者補助犬学会 理事・学校法人ヤマザキ学園 理事長・学長)

開催日時:平成 21 年 10 月 17 日(土)・18 日(日)

開催場所:ヤマザキ動物看護短期大学

第 4 回 メインテーマ:「より長く、より幸せに ~補助犬に求められる獣医学~」

大会長:鷲巢 月美(日本獣医生命科学大学 獣医学部 臨床病理学教室 准教授)

開催日時:平成 23 年 10 月 29 日(土)・30 日(日)

開催場所:日本獣医生命科学大学

第 5 回 メインテーマ:「身体障害者補助犬法:次の 10 年に向けての提言」

大会長:三浦 靖史(神戸大学大学院 保健学研究科 准教授)

開催日時:平成 24 年 10 月 27 日(土)・28 日(日)

開催場所:宝塚ソリオホール

第 6 回 メインテーマ:「補助犬のウェルビーイング~健康と福祉を考える~」

大会長:林 一彦(日本大学松戸歯学部 特任教授)

開催日時:平成 25 年 10 月 26 日(土)・27 日(日)

開催場所:日本大学 松戸歯学部校舎棟

第 7 回 メインテーマ:「人にも動物にもやさしい社会をめざして ~2020 年に向けて~」

大会長:高柳 友子(医師・社会福祉法人日本介助犬協会 事務局長)

開催日時:平成 26 年 9 月 20 日(土)・21 日(日)

開催場所:中部国際空港セントレア

第 8 回 メインテーマ:「補助犬が拓く 楽しい旅、やさしい社会 ~2020 年に向けて~」

大会長:秋田 裕(日本身体障害者補助犬学会 理事長)

開催日時:平成 27 年 10 月 31 日(土)・11 月 1 日(日)

開催場所:羽田空港 国際線旅客ターミナル 4F TIAT SKY ホール

第9回 メインテーマ:「ユニバーサル社会と補助犬 ～障害者差別解消法をふまえて～」

大会長:神沢 信行(甲南女子大学 看護リハビリテーション学部 教授)

開催日時:平成 28 年 10 月 29 日(土)・30 日(日)

開催場所:神戸大学 先端融合研究環統合研究拠点 コンベンションホール

第10回 メインテーマ:「補助犬の福祉を考える ～幸せな使用者を支える幸せな犬たち～」

大会長:山崎 恵子(公益社団法人 日本聴導犬推進協会 副理事長)

(特定非営利活動法人日本補助犬情報センター副理事長)

開催日時:平成 29 年 10 月 28 日(土)・29 日(日)

開催場所:アオーレ長岡 市民ホールA

第11回 メインテーマ:「世界を翔る補助犬使用者 -2020 オリパラに向けて-」

大会長:菊地 尚久(リハビリテーション科医師・医学博士・千葉県千葉リハビリテーションセンター 副センター長)

開催日時:平成 30 年 10 月 6 日(土)～7 日(日)

開催場所:成田国際空港第2ターミナル4階 有料待合室(成田空港)

第12回 メインテーマ:「旅と補助犬 ～泊まる・食べる・集う 快適な過ごし方を支える背景とは～」

大会長:山本 護 (株式会社京王プラザホテル 代表取締役社長)

開催日時:令和 元年 10 月 5 日(土)～6 日(日)

開催場所:京王プラザホテル 4階 錦

第13回 メインテーマ:「すべての人が暮らしやすい街に“できること”を考える」

大会長:川村 慶(川村義肢株式会社 代表取締役)

開催日時:令和 3 年 11 月 20 日(日)～12 月 31 日(金)

開催場所:Web 開催(オンデマンド)

第14回メインテーマ:「犬と人をつなぐ、人と社会をつなぐ補助犬 ～人にも動物にもやさしく楽しい社会をめざして～」

大会長:高柳 友子(社会福祉法人日本介助犬協会 専務理事)

開催日時(対面):令和 4 年 12 月 10 日(土)～6 日(日)

(Web):令和 4 年 12 月 17 日(土)～令和 5 年 1 月 31 日(土)

開催場所:中部国際空港 セントレアホール、イベントプラザ他/ Web 同時開催(オンデマンド配信)

第15回 メインテーマ:「持続可能な補助犬の育成を考える」

大会長:山本 真理子(帝京科学大学アニマルサイエンス学科 講師)

開催日時:令和 5 年 10 月 28 日(土)～29 日(日)

開催場所:東京たま未来メッセ 第1、2会議室

過去の学術大会写真記録

第7回学術大会（2014年）実施報告（ご参考）

●市民公開講座 9月20日



スペシャルトーク:安藤美姫さん・大日方邦子さん 補助犬デモスペシャルトーク:狩野亨さん

●学術大会 講演 9月21日

<基調講演>

スーザン・ダンカン看護師

(元ナショナルサービスドッグ 所長)

<航空関係者向け車椅子セミナー>



<シンポジウム>

「すべてのお客様に快適なおもてなしを ~私達の取り組み~」

黒沢 直子氏

日本航空プライオリティ・ゲストセンター

「補助犬受け入れの取り組みと今後について」

野口 浩一氏



株式会社オリエンタルランド CS 推進部
「テーマパークにおける補助犬受け入れと今後について」
荒尾 和史氏
中部国際空港株式会社 取締役執行役員 空港運用本部長
「中部国際空港のユニバーサルデザイン」

第8回学術大会（2015年）実施報告(ご参考)

●10月27日 航空関係者向け補助犬受け入れセミナー羽田空港 ANA ホール



●10月31日 補助犬デモンストレーション
羽田空港国内線第1旅客ターミナルビル 2階「マーケットプレイス」



羽田空港国際線旅客ターミナルビル 4階「江戸舞台」スペシャルゲスト 安藤美姫さん



●10月31日 補助犬利用者向け 羽田空港体験ツアー



●11月1日 学術大会講演

<シンポジウム>

演 者:田中穂積氏(日本旅行協会 バリアフリー旅行部会 部会長)

「障害者差別解消法と旅行業界の対応」

垣内俊哉氏(株式会社ミライロ代表取締役社長)

(一般社団法人日本ユニバーサルマナー協会代表理事)

「旅行業界におけるユニバーサルマナー」

大槻正伸氏(ANA おからだの不自由な方の相談デスク 主席部員)

「おからだの不自由な方への空の旅へのお手伝い」



指定発言:介助犬利用者 佐藤美樹&介助犬・いろは

第 11 回学術大会 (2018 年) 実施報告(ご参考)

<イベント> 補助犬利用者向け成田国際空港体験ツアー

2018年10月6日(土)12:00~14:00 成田国際空港 第1 および第2 ターミナルビル





<市民向け公開講座>

2018年10月6日(土) 15:00~17:00 第2ターミナル 3F スカイリウム(ステージ)



<学術集会>

2018年10月7日(日) 第2ターミナル 4F 有料待合室 A-2・3



第 12 回学術大会（2020 年）実施報告（ご参考）

<市民向け公開講座>

2019 年 10 月 5 日（土）15:00～17:30 京王プラザホテル 4 階 錦



<ユニバーサルルーム・補助犬トイレ見学会>

2019 年 10 月 5 日（土）17:30～18:30 京王プラザホテル



本館 30 階（ユニバーサルルーム）・南館 3 階ロビー外側（補助犬トイレ）

<学術集会>

令和元年 10 月 6 日（日）京王プラザホテル 4 階 錦

